



糸原 壽之 議員

質問 防火水槽設置推進及び 受益負担金軽減を

町長 負担金軽減は難しい。防火水槽の
適正管理を行う

質問 安全・安心な暮らし、そして防災意識向上のため、防火水槽設置の推進を。地区別の防火水槽の設置数は。

地区別防火水槽設置数

布勢	23	鳥上	19
三成	18	横田	59
亀嵩	25	八川	29
阿井	15	馬木	24
三沢	4	合計	216

総務課長 次の表のとおりである。

の上三所2カ所、馬馳上1カ所、中村1カ所、三成地区の乙多田1カ所、阿井地区の奥湯谷1カ所である。

質問 今後の設置計画は。

総務課長 平成30年度に3基、平成31年度に3基を予定している。

質問 事業費の財源は。

町長 工事費の2分の1を国の消防防災施設整備費補助金を活用している。

総務課長 現時点では把握していない。

質問 現在、防火水槽の地区別の設置要望数は。

総務課長 布勢地区

質問 防火水槽の整備推進を図るため、地元から事業申請をしやすくし、受益者負担金を工事費の5%から2%へ引き下げができないか。

町長 町の財政状況や過去の受益者負担金との均衡から、引き続き同率と考えている。

質問 防火水槽には町で統一した目印を

付し、効果効力が発揮できるようにすべきた。

町長 全ての防火水槽には統一した看板を設置しているが、劣化、破損した看板は消防団で取り換え

を行っている。

再質問 5%から2%へ引き下げの再度の検討を。

町長 厳しい経済環境の中だが、現行通りで理解されたい。

質問 防火水槽の台帳はあるか。

総務課長 216基の台帳は町のほうで保持、保管している。

質問 防火水槽を町内の必要などころには整備を推進された

総務課長 防火水槽の現状について、現在どのような状況なのか、点検確認を消防団に依頼した。

今後、適正な管理に向けて、消防団と

今年度防火水槽設置予定地



稲原地内



中村地内



大馬木地内